

An aerial photograph of a coastal town and bay. The town is situated on a peninsula, surrounded by lush green mountains. The bay is a deep blue color, and the sky is a pale, hazy blue. The overall scene is a beautiful landscape.

「美の滋賀」づくりの推進

総合政策部・健康福祉部・教育委員会

「美の滋賀」の発信

第3回「美の滋賀」発信懇話会の議論より事務局まとめ

3つのめざす姿

深みのある日常に県民が心の安らぎや豊かさを覚えながら楽しく元気に暮らしている人や地域の絆を県民が実感しながら生活している
そうした地域の新しい暮らし方を県外の人々がうらやましく思う

「滋賀をみんなの美術館に」

- ・ 滋賀の様々な美を人と人がつながり合い交差しながら伝えていく「場」
- ・ 美を通して誰もが関わりつながれる「座」

暮らしの美・生活文化の美

アール・ブリュット(ART BRUT)

・ アジアの運動拠点をめざして、「日本、アジアのアール・ブリュットのいま」を発信

新しい21世紀の人間像の提案

近代美術館の資産

・ 滋賀ならではの美を現在・過去・未来と、人々の思いや記憶の結節点として、編みなおして提示

第一弾として
3つの美の編みなおし

神と仏の「美」

・ 人びとの暮らしや風土も含めた近江の仏教美術や神道美術の奥深い魅力や価値を発信
・ 新しい交流・発信拠点の整備

滋賀・琵琶湖で生まれ育まれてきた

自然の美・琵琶湖の美

県民や関係者ととともに「美の滋賀」の土壌をつくり、活動を活発化させる
新生美術館をつくり、地域や現場と交流しながら受発信する
滋賀の「美」の魅力を県民自らが伝える舞台をつくる

「美の滋賀」推進 ワーキングの設置

懇話会および3つの検討委員会の議論を踏まえ、横つなぎで検討

「美の滋賀」づくりの推進施策体系

1 「美の滋賀」の土壌を
つくり、活動を活発化
させる

1 - 1 「美の滋賀」推進企画調整事業 総政

1 - 2 滋賀の美調査・ネットワーク化推進事業 総政

1 - 3 アール・ブリュット推進事業
アール・ブリュットネットワーク構築の推進
障害のある人の造形活動の推進 総政
健福

2 新生美術館をつくり、
地域や現場と交流しなが
ら受発信する

2 - 1 新生美術館基本計画策定事業 総政

3 - 1 滋賀のアート発見事業
「美術旅館」の推進等
アートマップの作成 総政

3 滋賀の「美」の魅力を
県民自らが伝える舞台
をつくる

3 - 2 近代美術館から滋賀の「美」発信事業 総政

3 - 3 近江の仏教美術等魅力発信・再生支援事業 教委

3 - 4 近江の神と仏の「美」発信展覧会開催事業 教委

3 - 5 アール・ブリュットの魅力発信事業 総政

1-1 「美の滋賀」推進企画調整事業

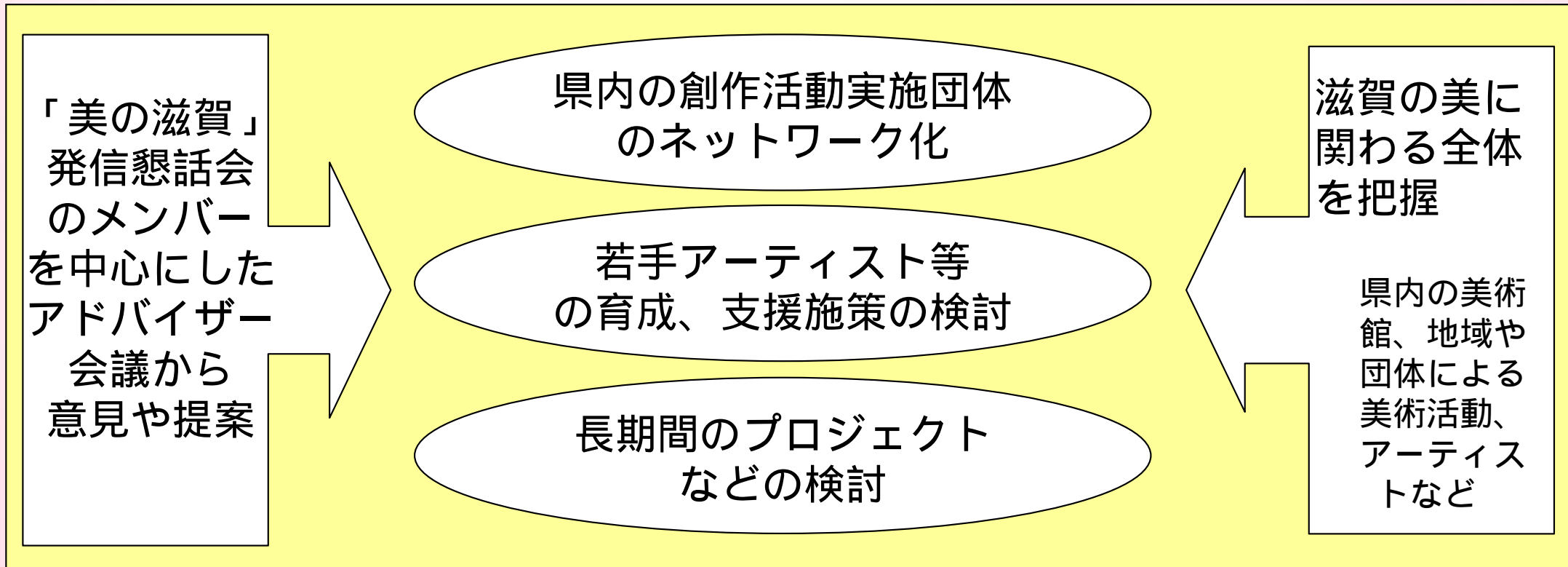
総合政策部(「美の滋賀」発信推進室)
予算見積額 944千円

1-2 滋賀の美調査・ネットワーク化推進事業

同
2,500千円

「美の滋賀」推進のための仕組みづくり

県民、関係団体、市町等と情報や意見を交換しながら、「美の滋賀」推進のための仕組みづくりに向け、取組を進めます



2-1 新生美術館基本計画策定事業

総合政策部(文化振興課)
予算見積額 8,505千円

近代美術館の再スタートに向けた計画策定

近代美術館が平成26年度に開館30周年を迎えることを機に、一層県民の期待に応え、特色ある滋賀の「美」を発信する拠点として再スタートすることを目指し、基本計画を策定します。

H23年度

近代美術館機能・発信力 強化検討委員会

近代美術館の機能と発信力の強化にむけて、今後のあり方を各専門分野や利用者等の幅広い立場の委員により議論

H24年度

新生美術館基本計画の策定

H23年度の検討委員会の報告書等を踏まえ、新たな美術館の具体的な運営や機能、それを実現するために必要な施設等について検討し、基本計画にまとめる。

新生美術館として
再スタート!



今後の美術館の可能性と方向性（近代美術館機能・発信力強化検討委員会の間まとめより）

1. 「美の滋賀」の入口として過去から未来まで滋賀の美を一体として扱うことで、作品の魅力とその背景にある人々の暮らしや思い、自然を浮き彫りにする

2. 美を核とした社会の新たな広場としてコミュニティの形成や文化の継承、次世代の人材育成の場として機能する

3. 住み心地日本一の滋賀をめざして地域の再生や創造性の向上、イメージやブランドの確立等を通じて、明日の滋賀の可能性の源泉となる

3-1 滋賀のアート発見事業

総合政策部(「美の滋賀」発信推進室、文化振興課)
予算見積額 6,677千円

美術旅館の推進等

旅館やホテルでアール・ブリュット作品の展示や解説、トークシリーズの開催などの一歩進んだアート化を展開

美術旅館

- ・ 作品展示や女将さんなどによる作品解説
- ・ 作品展示にかかる費用は美術旅館が負担

県

- ・ 広報等によりしっかりと支えていく
- ・ 美術旅館と協力してアール・ブリュットのトークシリーズを実施

美術旅館の拡大・深化を期待

滋賀のアートマップ作成事業

県民参加でのアートマップ作成による多様な滋賀の「美」の魅力発見と情報発信

協力サポーター (公募)

公募による協力サポーターが滋賀の「美」に関する情報を収集・発信

県内のアーティストや工房・ギャラリー、アート作品にちなむ風景やゆかりの場所など

アートマップ作成委員会 (公募県民とアドバイザーにより構成)

アートマップの作成およびHPでの情報発信

3-2 近代美術館から滋賀の「美」発信事業

総合政策部(文化振興課)
予算見積額 6,177千円

近代美術館が地域との連携で滋賀の「美」を発信

近代美術館が地域や団体等と幅広くつながり、連携しながら、滋賀の「美」の魅力を発信します。

(仮称)「石山寺縁起絵巻」展 キャンペーン事業

H24年秋に美術館で開催される、石山寺の重要文化財「石山寺縁起絵巻」を全編公開する企画展示にあわせて、いにしえより独自の文化を育んできた滋賀のイメージを発信するキャンペーン事業を実施。

< 内容 >

- 石山寺縁起絵巻の理解と関心を深めてもらうシンポジウムを開催
- 学芸員とゲストスピーカー等が出演
- 美術館、石山寺、地元観光協会等で構成される実行委員会へ委託

お出かけミュージアム・ キャラバン事業

美術館ならではのノウハウや人材を生かし、滋賀の「美」を発信する展示やワークショップなどを県内各地の身近な場所で開催。

平成24年度は、近年滋賀県の特色あるアートとして注目が高まっているアール・ブリュットに関する巡回展を開催。

< 内容 >

- 県内の作家を中心に、アール・ブリュット作品を展示する展覧会を、地域との連携で開催。
- 開催場所 県内2箇所
- 開催期間 各25日程度

3-5 アール・ブリュットの魅力発信事業

総合政策部(「美の滋賀」発信推進室)
予算見積額 5,998千円

滋賀の福祉の歴史の中から生み出され、育まれてきたアール・ブリュットの魅力を県内外に発信します

展覧会の定期開催

H24は「近代美術館から滋賀の『美』発信事業(お出かけミュージアム・キャラバン事業)による県内巡回展



アジアの作品調査

アジアの“運動”拠点を狙って関連する作品調査を実施

アール・ブリュットガイドブックの発行

今年度に引き続き、アール・ブリュット作品の魅力を伝えるガイドブックを作成し、県民に広く配布

県立施設のアート化

県民の皆さんに、より身近にアール・ブリュット作品を感じてもらうため、県庁や県立図書館などの県立施設にアール・ブリュット作品を展示

学校教育との連携

近代美術館のアウトリーチ活動を参考に学校現場での鑑賞教育等の方策について検討



人間の本质にせまるアート

1-3 アール・ブリュット推進事業

アール・ブリュットネットワーク構築の推進

総合政策部(「美の滋賀」発信推進室)
予算見積額 4,924千円

アジアのアール・ブリュットの“運動”拠点を目指し、ネットワークの形成と情報拠点の整備に取り組みます

アール・ブリュットネットワーク会議準備会の設置

アール・ブリュットネットワークフォーラムの開催

アール・ブリュットの情報拠点機能の検討

アール・ブリュットの情報収集

アール・ブリュットネットワーク会議の設置

< 設置目的 >

- ・アール・ブリュットに関する課題解決に向けた研究、検討
- ・アール・ブリュットに関する幅広い広報および啓発

< 活動内容 >

- ・アール・ブリュットに関わる機関等による定期会議の開催
- ・アール・ブリュットに関する専門的な情報交換
- ・アール・ブリュットへの関心を喚起するためのフォーラムの開催

< 構成メンバー >

- ・アール・ブリュットに取り組む自治体や団体（NPO、法人、公・私立美術館）を想定。

アール・ブリュットの情報拠点

< 期待される機能 >

アール・ブリュットに関する資料や情報の収集、整理、保存

作品データを、アーカイブとして記録・保存・研究

研究者と学芸員の研究交流会議の開催（研究者同士の交流の場）

障害のある人の造形活動の推進

健康福祉部(障害者自立支援課)
予算見積額 31,300千円

事業実施にあたっての基本的な考え方

アール・ブリュットの振興を、障害の有無に関わらず一人ひとりの個人が尊重される「共生社会」の実現につながる象徴的な取組として位置づけ、積極的に推進する

障害者造形活動推進事業

障害のある人の造形活動を推進するために、作品の発表機会の拡充および著作権などの作家の権利の保護に取り組む

- ・「ぴかっtoアート展」の開催による作品の発表機会の拡充
- ・障害者造形活動支援センター(仮称)の運営に対する助成(新規)

造形活動を行う上で生じる著作権の取り扱いや造形活動の質の向上について、障害のある作家や支え手となる施設を支援する

アール・ブリュット文化アジア拠点化推進事業

ボードレス・アートミュージアムNO-MAが行うアジア地域を視野にいれた活動を支援する

- ・国内外の作品調査、情報発信事業
- ・NO-MAでの展覧会開催事業



韓国との交流展の様子

3-3 近江の仏教美術等魅力発信・再生支援事業

教育委員会(文化財保護課)
 予算見積額 15,336千円

仏教美術等魅力発信モデル事業

所有者団体、観光事業者等が協働で、滋賀の文化財を
 探訪するモデルツアーに取り組む。

- ・滋賀県文化財保護連盟が企画、検討委員会を設置
- ・旅行業者がツアーを実施

モデルツアーの
 柱とする



相乗効果



再生活用事業
 を広報

仏教美術等再生活用・情報発信事業

観光振興や情報発信に積極的な所有者が、再生(修理)
 と活用を一体的に実施する事業に対し補助。

新映像記録を制作して、テレビ放送し、また文化施設、観
 光施設、学校へのDVDの配布により、再生(修理)の価値
 や魅力を発信。

効果

事業の効果

モデルツアーの企画により、地域で守られてきた文化財を
 掘り起こし、滋賀の仏教美術の価値や魅力を県内外に広く
 知ってもらう。

所有者等が自主的に修理現場等の公開活用に取り組むこ
 とで、文化財保護の重要性を広く認識してもらうとともに、観
 光振興・地域活性化につなげる。



天台宗 龍徳山 西明寺

3-4 近江の神と仏の「美」発信展覧会開催事業

教育委員会(文化財保護課)
予算見積額 9,205千円

仏教美術等の文化財の展覧会

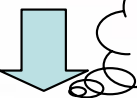
琵琶湖文化館の収蔵品を中心とした滋賀の仏教美術等の展覧会を発信力のある東京や静岡で開催する。

- ・三井記念美術館 (H24.9～ 東京・日本橋)
- ・静岡市美術館 (H25.1～)

滋賀の美の魅力を
一体的に発信



相乗効果



県外博物館との
連携・協力

滋賀の風土等を 紹介する写真パネル展

上記の展覧会の関連事業として、会期中に、展覧会と一体として滋賀の奥深い魅力をPRする写真パネル展を開催する。

滋賀を訪れることで出会うことができる仏教美術等や暮らしのみえる風景などを紹介する。

効果

事業の効果

近江の仏教美術等の文化財とともに、それらを取り巻く暮らしや風土等の魅力を一体的に発信し、認知度アップや観光誘客を図る。

滋賀の文化の奥深さや素晴らしさを県外に広く知ってもらうことで、県民の誇りにつなげる。

